

要望実現の ために

平成23年度 会津坂下町
区長・自治会長会全体会議開催



全体要望
齋藤 利衛氏（見明）



座 長
堀 明義氏（新町）

「全体要望

町道宇内沼越線の鶴沼川（旧宮川）に
架かる丈助橋の拡幅について（継続）

丈助橋は、幅が狭く乗用車どうしても交互通行している。県道昇格など整備方法を検討し、一日も早い幅員拡張を要望する。

【建設部】

架け替え計画の検討に取り組んでおり、本道路の機能は近隣市町村への広域的なアクセス道路として、県道に匹敵する基幹道路なので、県道へ昇格していただき県道の整備事業で対応して頂くよう、町の最重要地区として県に要望して参ります。

JR踏切の改修について（継続）

道路拡幅等の整備に伴い、車両の大型化や交通量の増加などにより、一般の人々並びに児童・生徒の通行が危険な状況にある。今年度も地域の健全な発展上、重要課題として要望する。

中村街道踏切・沖踏切・金沢踏切

【建設部】

町内にある踏切の拡幅改良は、町の道路整備計画にあわせてJRと協議しており、原街道踏切については、踏切本体の拡幅工事及び道路の拡幅が平成22年度に完了しました。
中村街道踏切、沖踏切、並びに金沢踏切の拡幅整備についても、順次対応して参ります。

杉街道の拡幅計画について（継続）

町道杉線の新町地内の拡幅工事について、検討から基本計画等の作成のための予算措置など、実現に向けた取組を進めていただきたい。作成にあたり、残地等が生じる場合は、地域住民の意見を取り入れるよう要望する。

【建設部】

町道杉線の新町地内の拡幅整備については、アクセス道路として早急に整備を実施することが必要ですので、出来るだけ早い時期に測量、調査、設計等を実施し、これを基に用地・補償業務を進めます。平成24年度には、予算状況によりますが工事の着手から完了まで進めたいと考えております。

「坂下地区要望

地区内全域の通年通水と公共下水道
整備の早期実現について（継続）

町内周辺地域は宅地化が進み、それに伴う水路の不十分な整備、土砂の流出などによる悪臭等の原因を解決するのは困難であり、目に見えた成果も期待できないので、一日も早い公共下水道の整備を強く要望する。あわせて、用排水路の悪臭等を防止するため、汚泥除去等についても要望する。

【建設部】

市街地通年通水については、現在の水量を有効利用するため、臨時職員を雇用し、流入水の確保及び水路の管理を実施して参ります。

既設水路の改修等については、要望箇所を現地調査しながら実施して参ります。更に水路内の汚泥堆積については、現地調査を実施し、計画的な汚泥除去作業と清掃作業を実施して参ります。

平成23、24年度の2カ年で坂下中央処理区処理場建設工事を行い、翌年に一部が供用開始されます。

排水路の悪臭防止のためにも公共下水道供用区域内にお住まいの方は、下水道への早期接続をお願いいたします。

鉄砲町地内の町道勝大線の道路改良 について（新規）

鉄砲町地内の町道について、一部区間が未改良であり、年間を通し、対面交通が大変厳しいのが現状です。

また、町内から坂下厚生総合病院へ行く唯一の既存道路でありますので、対面交通可能な道路建設のため、年次計画に計上、検討するよう要望する。

【建設部】

町道勝大線鉄砲町地内の改良整備については、中心市街地から若宮地区並びに坂下厚生総合病院への重要なアクセス道路であり、狭隘区間の解消を図り、大型バス等の安全走行と歩行者の安全・安心を確保する観点から、早急に整備を行うことが必要と考えます。

今後、要望箇所について、関係機関や沿線住民の方々の意向も十分にお聴きしながら、調査検討を進めて参ります。



金上地区要望
齋藤 源一氏（金上）



若宮地区要望
渡部 新平氏（牛沢）



坂下地区要望
渡部 孝一氏（橋本）

「若宮地区要望

逆水橋の拡幅整備について（新規）

逆水橋については幅員が狭く交互通行している。生徒の自転車通学時には大型車両とのすれ違い等において大変危険である。子供たちの安全、安心な通学のためにも早急な拡幅整備を要望する。

【建設部】

町道勝大線、栗村堰水路に架かる逆水橋（1号橋）は、橋梁の幅員が4・5mと狭く大型車両の交通量が多い路線であるため、車両の安全運行と歩行者の安全・安心を確保するため、今後、整備手法等も含めて検討して参ります。

大村地内（町道船杉・勝大線）の側溝整備と蓋がけについて（継続）

一部施工されていますが未整備の箇所があり、道路も狭く車両通行の支障になっていること及び通学路でもあり、児童の交通安全確保の面からも整備を要望する。

【建設部】

大村地内のような側溝蓋掛拡幅整備の要望は、多くの行政区より要望がありますので、現地調査の結果を踏まえ、交通量及び危険度等の緊急性を考慮し、優先順により整備を検討して参ります。

宮田川及び田沢川（勝方地内）水害対策について（継続）

宮田川の堆砂撤去については、平成21年度から一部の撤去をして頂いたが、まだ河川内には堆積箇所が多く集中豪雨時には堆積の肥大化が進み、災害の発生が危惧されるため、河川近辺の冠水をはじめとする災害防止のためにも引き続き堆積土砂の撤去を要望する。

【建設部】

宮田川の堆積土砂については、平成21年度、22年度と土砂撤去を実施しており、かなりの効果があつたと考えております。今後も、状況を見ながら対策を講じて参ります。

「金上地区要望

新宮川の夏草の刈払いについて（継続）

宮古橋から細工名橋左岸堤防及び新開津橋から中開津橋右岸の堤防の交通量が、時間帯によって非常に多くなっているため、夏草の繁茂により見通しが悪くなり交通事故が懸念されるので、毎年早目の草刈等の実施を要望する。

【建設部】

宮古橋から細工名橋の左岸堤防の除草については、要望どおり早期に実施して参ります。新開津橋から中開津橋右岸の堤防の除草については、昨年度は実施困難との回答がありましたので、今年度も引き続き実施に向けて県に要望して参ります。

新開津橋上・下流の土砂撤去等工事について（継続）

近年台風や大雨により、中開津地区及び細工名地区において洪水、冠水の被害が多発しております。原因の一つに新宮川河川内の中州の肥大が考えられ、今年度も新開津橋上下流の土砂撤去等の工事を継続して要望する。

【建設部】

新宮川中州の堆積土砂除去等については、町の重点箇所として県に強く要望しております。また、水玉川・宮川流域整備促進期成同盟会においても、同要望を県に要望しております。

県からは、今後の施工方法等について専門家の意見を聴取した上で、河川管理のあり方について町と調整したいと回答を得ており、引き続き県に要望して参ります。

会津坂下・本郷線（県道）の防雪柵設置延長について（継続）

新宮川橋から坂下方面に向かって左岸の勾配もあり、風雪時には見通しが悪い状態なので、新宮川橋（中開津橋）までの防雪柵（水田の簡易式）設置延長を要望する。

【建設部】

当該地区の防雪柵設置について、区より要望を受け、県に要望して参りました。県より、防雪柵の設置状況及び防雪柵の必要性を調査したいとの回答があり、今年度は整備実現に向け引き続き要望して参ります。



八幡地区要望
蓮沼 信夫氏 (塔寺)



川西地区要望
佐藤 等氏 (宇内)



広瀬地区要望
佐藤 壽英氏 (青木)

「広瀬地区要望」

通園通学路の歩道設置について(継続)

通園・通学及び町民、特に高齢者の通行安全確保のため、町道広瀬小学校前線の歩道の整備と町道宇内・沼越線の東河原入口までの歩道延長を要望する。

【建設部】

町道宇内・沼越線の歩道整備については、整備が完了し、安全確保が図られていると考えております。更に東河原入口までの延長整備については、教育施設2次統合を見据え、整備計画について検討します。

広瀬小学校前線の歩道確保については、昨年度、車道と歩道を白線に分離し歩道幅員を確保し、利用者の安全確保が図られたと考えております。

町道に架かる橋梁の早期架け替えについて(継続)

幸橋は老朽化が進み狭く、危険な状態です。国道49号線から和泉川原地区を経由して北方への路線として重要なので、早期の着工を強く要望する。

【建設部】

幸橋架け替え事業については、丈助橋でお答えしたとおり、当面の整備は困難な状況です。

なお、町の都市計画マスタープランでは、中村街道線の起点側にあたる国道49号線から北側へ延伸して一級町道政所・新館線をつなぐ重要路線に位置付けられておりますの

で、今後この道路整備と合わせた「幸橋」架け替え計画を考えておりますのでご理解ください。

町道に防雪柵の設置について(継続)

町道阿賀川線の全線及び町道宇内・沼越線の青木から沼越間に防雪柵の設置を要望する。冬期間風雪が非常に強い箇所であり、交通量が多く非常に危険です。また、重要路線である当該箇所の防雪柵を本年度こそ設置していただくことを強く要望する。

【建設部】

防雪柵設置については、要望されている各地区も含んだ全体的な対策整備を検討していますが、据付・撤去や設置費用の課題があり、新規設置は困難なことから、吹溜りなど積雪状況を考慮して安全な通行ができるよう、機械除雪による除雪サイクルを増やし、冬期間の安全な交通の確保に対応して参ります。

「川西地区要望」

県道「熱塩加納・会津坂下線」道路改良整備について(継続)

①本線、八日沢区蛙田以北のカーブのところで発生している交通事故を減少させるには、カーブ等について改良が必要なので、改良整備を強く要望する。

②津尻・真木間には、歩道が未設置になっている。前年要望の県対応は、通学路でないことから設置困難と回答を得たところだが、この区間は、学生が通学に利用し

ている。交通安全の観点から歩行者・自転車利用者の通行可能な歩道の設置を要望する。

【建設部】

①県道熱塩加納・会津坂下線八日沢地区については、昨年度県に要望しております。県からは事業化を検討して参りたいと回答を得ており早期実現に向けて引き続き県に要望して参ります。

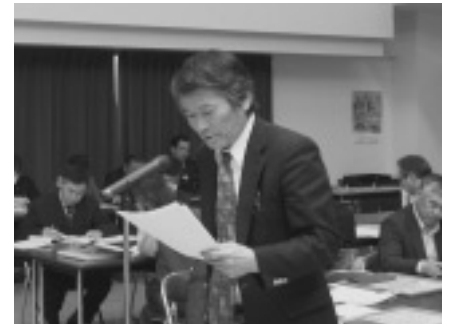
②津尻地区についても、昨年度県に要望しております。県からは、昨年度同様、現在は通学路でないことから対応は困難であると回答を得ております。町としては、地区の要望は十分理解しているもので、今後も県に要望して参ります。

町道「袋原線」道路傾斜改良整備について(新規)

町道袋原線から県道塩川・山都線へ出るときに一時停止線から出口までが急傾斜になっており、視野が悪く安全確認に支障がある。また、凍結によりスリップして大変危険な箇所であり、事故の発生しやすい所ですので、出口の傾斜を無くし平坦で安全確認が出来、容易に県道へ出られるように改修を要望する。

【建設部】

町道袋原線と県道塩川・山都線の交差点について、現地調査をした結果、ご指摘のとおり県道交差部の町道側に傾斜部があり、冬期間には、交通車両の安全運行に支障をきたす恐れがありますので、今後、整備計画について検討します。



高寺地区要望
山口 幸一氏（窪）

町駐在員表彰
（駐在員として5年以上在職）

【敬省略】

前	桜木町自治会長	伊藤 秀行
前	本町自治会長	吉澤 鎬彌
前	鉄砲町自治会長	吉田 幸雄
前	水島区長	佐藤 友一
前	上新田区長	渡邊 弘喜
前	中新田区長	関野 俊威
前	中村区長	高波 和廣
前	太田谷地区長	小林 惣賢
前	村田新田区長	春日 芳和
前	西青津区長	五十嵐昭一
前	塔寺二区長	小林 富喜

感謝状贈呈
（退任される地区会長）

【敬省略】

前	坂下地区自治会長	吉田 幸雄
前	若宮地区区長	関野 俊威
前	金上地区区長	本田 健一
前	広瀬地区区長	仙波 利郎
前	川西地区区長	齋藤 衛
前	八幡地区区長	佐藤 信雄

八幡地区要望

旧八幡小学校の取り壊しとコミュニティセンターの建設について（新規）

旧八幡小学校については、統合以来一段と老朽化が進み、危険建築物となっており、早期の取り壊しとその跡地に地域コミュニティセンターの建設を要望する。なお、プール施設も危険な状態にあり、優先して取り壊しをお願いする。

【政策財務部】

町としても使用目的のない普通財産について、年次計画により順次取り壊しを考慮しており、その中でも最優先的であると認識をしています。遅くとも平成24年度には、旧校舎と併せてプールの取り壊しを実施したいと考えております。

新たなセンターの整備等については、旧八幡幼稚園跡地の活用を含めて、今後協議して参ります。

県道「赤留塔寺線」の早期全線開通について（継続）

県道赤留塔寺線は、地域の活性化が大いに期待されるので、継続的に早期の全線開通を県に対し強く要望する。

【建設部】

県道「赤留塔寺線」の整備促進については、今年度も引き続き早期開通が図られるよう、町並びに赤留塔寺線整備促進期成同盟会共々、最重要要望事項として県に要望して参ります。

町道「和泉・平井線」の道路改良拡幅工事と安全対策及び「大沢・和泉線」の防雪柵設置について（継続）

町道和泉・平井線の改良拡幅工事の早期着工を要望する。また、大型車両が頻繁に往来するため、道路が損傷し危険な状況なので、現道路の維持管理に万全な対策をお願いする。大沢・和泉線は冬期間猛吹雪のため吹溜りが出来、一時的に通行困難になるので、防雪柵の設置を要望する。

【建設部】

今年度は、用地補償業務を実施して参ります。予算の状況にもよりますが、平成25年度完成に向けて進めたいと考えております。防雪柵については、広瀬地区同様、機械除雪による除雪サイクルを増やし対応して参ります。

高寺地区要望

歴史ある宿場町の束松地区、緑と自然豊かな山間を走る束松峠を歩く県道としての整備促進について（新規）

束松峠（旧越後街道）は、賑わい創出が期待できる宝でありますので、洞門の復元と共に、自然豊かな地形を活かした、歩く県道としての整備についてご教示願いたい。

【建設部】

昨年、福島県土木部が策定した「ふくしまの新しい県土プラン」により、歴史を体感できる「歩く県道」の整備が計画決定され、具体的な整備方針や歴史的資源の活用策について地域の方々と共に、県と町が連

携し、事業化に向けて進めて参ります。

県道3路線沿線集落及び舟渡バイパスの消雪施設の設置並びに県道の適正な管理と道路の整備促進について（継続）

①消雪施設の設置について、機械除雪対応でとのことでしたが、適正な対処に至っておらず、豪雪時の安全確保が急務と考えており早期整備を強く要望する。②県道側溝及び路肩の雑草管理も適正に行われるよう要望する。

③只見川基幹農道から国道へのアクセス道路について、整備計画の促進と今後の見通しについてご教示願います。

【建設部】

①内容を踏まえ、引き続き県に要望して参りたいと考えております。天屋、本名地区について、地下水確保のための水源調査の予算確保に努めたいとの回答を得ており、県に要望して参ります。

②引き続き県に要望して参ります。

③関係機関や沿線住民の方々の意向も取り入れ、ルート計画も含めた整備計画の作業を進めて参ります。

只見川河川敷堤防の整備及び管理について（継続）

只見川流域3地区の堤防に、雑木、雑草（特につる草）が繁茂し、生活環境や農作物等に悪影響を及ぼしているため、雑木の伐採等適正な管理を要望する。

【建設部】

今年度も引き続き県に要望して参ります。

好き！すき！ばんげ！

～ 2万人への挑戦 ～

新しい振興計画がスタートしました！



振興計画とは？

より良いまちづくりを行うため、町にはいろいろな計画が定められています。

振興計画は、これらの計画の最上位にあたるもので、まちづくりの基本的な理念や目標、それに向けた施策を定めた総合的な計画です。

昭和30年に町制を施行して以来、四次にわたる振興計画を策定しており、今回の計画は第五次の振興計画となります。

計画の期間は、平成23年度から平成32年度までの10年間です。



別冊の「第五次会津坂下町振興計画ダイジェスト版」をぜひご覧ください

第五次振興計画は、町民の皆さんと役場職員による「地域が輝くまちづくり創造委員会」で素案を作成した「基本構想」「基本計画」と、公民館単位の7地区全てで、町民の方が中心となって各地域の目指す姿をまとめていただいた「地域づくり計画」で構成されています。

今回広報誌と一緒に全戸に配布させていただいた振興計画のダイジェスト版には、これらの主要な部分が記載されていますのでぜひご覧下さい。

また、5月20日（金）から町ホームページに、本編を公開するとともに、各地区公民館でも冊子にてご覧いただけます。



みなさんの思いが込められたこの計画を実行していくためには、町民のみなさん一人ひとりの行動が絶対に必要です。

暮らしやすい地域、暮らしやすい町づくりのために、町民のみなさんの積極的な活動への参加をお願いします。

【問い合わせ先 政策企画班 TEL 84-1504】

温かいご支援(義援金)ありがとうございました

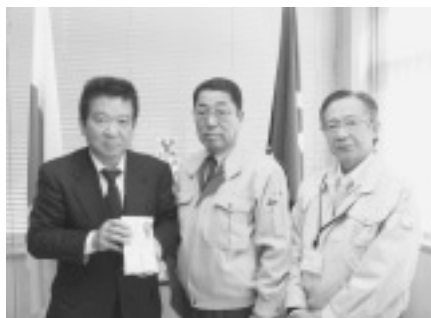
平成23年3月11日に発生した東日本大震災に際し、企業や個人より温かいご支援をいただきました。今後、ご支援いただきました皆様の意思に沿い、大切に使用させていただきます。



(株)彌満和プレジジョン 様
【300万円】



マルト建設(株) 様
【300万円】



佐藤 義光 様
【200万円】



(株)佐藤電設 様
【100万円】



(株)あいづダストセンター 様
【100万円】



JA会津みどり 様
【米30kg×30袋】



エクソンモービル(有) 様
【10㍑無料給油券×1千枚】



仲町納税貯蓄組合 様
【10万円】



古坂下二六会 様
【5万円】

この他にも、たくさんの方からご支援いただきました。

- 全国春日八郎偲ぶ会前会長 飯村孝男 様【100万円】
- (株)佐藤電設 親睦会 様【10万円】
- 農産・加エグループ あがらんしょ 様【5万円】
- 昭和32年度広瀬小卒業生一同 様【3万円】
- 会津坂下山ノ会 様【3万円】
- 16会 様【2万円】
- 江花 力雄 様【1万円】

※ふるさと納税へもたくさんの方より多大なご寄附をいただいております。

皆様の温かいご支援に感謝いたします。ありがとうございました。

たくさんの生徒が参加しています!!

平成22年度の活動状況

参加生徒数

	校 名	登録人数	延べ人数
高等学校等	坂 下	27	50
	会 津 農 林	22	41
	そ の 他	4	9
	高 校 合 計	53	100
中 学 校	一 中	25	44
	二 中	53	77
	中 学 合 計	78	121
合 計		131	221

※その他内訳 葵高校 1名 会津学鳳高校 1名
郡山萌世高校 1名 上智大学 1名

実施メニュー

施 設 名	実施回数	延べ人数	内 容
な ご み	4回	23	車椅子手入れ、利用者とのふれあい
寿 楽 荘	4回	13	リネン交換
赤い羽根募金	2回	20	健康と産業と文化の祭典時募金活動
いにしえマラソン	1回	17	大会スタッフ
保 育 所	2回	38	保育補助
ばんげっ子	5回	6	指導補助
金上キッズ	7回	26	指導補助
夏 祭 り	1回	14	イベントスタッフ
そば祭り	2回	12	イベントスタッフ
献 血 P R	3回	21	献血PR活動
成 人 式	1回	9	受付、アンケート回収
坂下幼稚園	1回	14	夏祭りスタッフ
少年の主張	1回	8	司会、受付等運営スタッフ
合 計		221	

町内の中学校・高等学校の生徒が毎年七月から十一月までの間様々なボランティア活動を行っています。様々な体験・人とのふれ合い。中高生ががんばっています。平成二十二年度の活動と参加生徒の感想を紹介します。

青少年ボランティアの活動紹介

平成23年度 青少年ボランティア募集!!

平成23年度も青少年ボランティアを募集します! 夏休みや土日にボランティアに参加してみませんか?

▼募集方法 町内中学校・高等学校へ通学の生徒

5月中旬までに学校を通して募集用紙を配布しますのでその際に応募ください!

町内在住で町外の学校に通学している生徒

中央公民館へお問合せください。

※町内、町外とも随時受け付けます!

▼問い合わせ先 坂下・中央公民館 TEL 83-3010



「そば祭り」 坂下二中3年 増田悠乃

今回のボランティアに参加して、そばのおいしさと裏方の大切さを改めて実感しました。

私は一日中皿洗いをしました。皿やおわん、お盆などが沢山あって途中でやめたくりましたが、私たちの洗った食器で食べているお客さんを見ると、皆とてもおいしそうに食べていて、私たちもがんばろうという気持ちになりました。仕事をがんばったのでお昼ご飯のそばがとてもおいしく感じました。

スタッフの方とも関わりを持っていろんな話が出来てよかったです。



「なごみ」 会津農林高校3年 大竹沙紀

今日はとても素敵な体験をさせていただきました。車椅子の空気入れや掃除など、貴重な体験ができて、本当に嬉しく思います。

また、今日は暑かったため、汗をかきながら行ったのですが、私は、こういう人に役立てることをして汗をかいて頑張れたことを大変嬉しく思います。

私は今高校三年生で、進路の事でいろいろ悩んでいます。しかし今日の体験で心がスッキリして、なんかやる気ができました。今日の体験を今後の生活に生かしたいと思います。



「幼稚園夏祭り」 坂下一中3年 佐瀬史帆

私は金魚すくいを担当して沢山の園児に来てもらえて嬉しかったです。最初は戸惑うこともあったけれど慣れていくうちに一人に対する対応も速くできるようになった気がします。

ずっとしゃがんだままの状態、少し疲れたけど、沢山の園児や担当の保護者の人と話すことができてとても楽しかったです。

また、去年授業で幼稚園に来た時に行ったクラスの子が私達のことを覚えていてくれてうれしかったです。



「成人式」 坂下二中2年 近藤萌波

ボランティアをするのは、初めてで、「成人式なんて務まるかな」と心配でしたが、大人の人が親切に色々教えてくださったり、少し助けていただいたりして、きちんとやることができました。

成人式は、大事で大人になったら私たちも行うので、少しでも早く成人式ってどういうものか見ることができて良かったです。

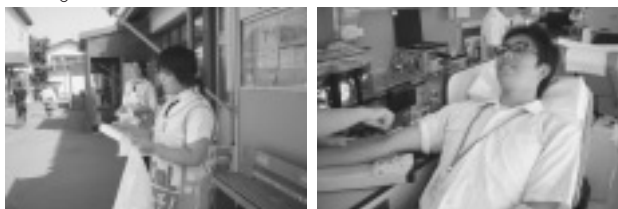
私も、大人になって友人と再会したりする成人式がとても楽しみになりました。



「献血PR」 坂下高等学校3年 熊川進大

ボランティア活動・献血は、どちらも自分にとって初めての経験だったので、戸惑うことが多く緊張した。最初は献血の呼びかけ、ビラ配りをした。受け取ってくれない人もいたが、「頑張って」と声をかけてくれる方、実際に献血をしてくれる方がいて嬉しかった。「君も献血してみない？」と係の方に提案されたので、悩んだけど挑戦してみた。僕は18歳になっていなかったため200cc献血した。緊張したが無事に終わって良かった。

また、ボランティアに参加して、献血にも協力したい。



「金上キッズ」 葵高等学校1年 佐藤希

子供たちと触れ合えたのが久々だったのでとても楽しく活動できました。次の活動へ子供たちを引率したり、男の子と駆けっこやけん玉、女の子と絵を描いたりお話したりと仲良くなり沢山触れ合えたのでとても良かったです。子ども達に「またきてね」と言われて嬉しかったです。

反省として、後片付けをしない子が何人か出てしまっ、ちゃんと声をかければよかったと思います。

今回ボランティアに来ている大人の方々は、大変だなと思ったけれど、本当に小学校の先生のように尊敬しました。また、機会があれば参加したいです。



※学年は平成23年3月の時点です。